

第10回 第3次丹波市総合計画審議会 会議録

日時：2024年2月21日（水）
10:00～12:00

場所：氷上住民センター 研修室

【出席者委員】（敬称略）

岸本 好量、竹内 真子、細見 博美、大野 亮祐、坂本 康子、足立 はるみ、金川 方子、
柳瀬 長明、杉岡 秀紀、山口 洋子、池畑 美帆（11名）

【欠席者委員】（敬称略）

上羽 裕樹、森島 斉、植木 光敏、寺内 清、實吉 直（5名）

【事務局】

副市長、清水ふるさと創造部長、磯崎総合政策課長、多田政策係長、足立主事、前川主査
足立大樹主査

【傍聴者】

2名

配布資料：【資料1】 第3次丹波市総合計画の序論・基本構想案

【資料2】 第3次丹波市総合計画（前期基本計画）の記載内容一覧

1. 開 会

2. あいさつ

【副市長】 今回で審議会も10回目を迎えた。これまでの経験から、ここまで回数を積み重ねて計画を策定したことはなく、通常は4～6回程度の会議を経て、パブリックコメントをするというイメージをもっていたが、今年度だけでもすでに8回の審議会が開催されている。総合計画案については、令和6年度9月議会に議案として提出する予定となっており、各回非常に熱量をもって、審議をしていただいている。特に、子どもの視点を重要視して策定を進めていただいております。大変ありがたいと感じている。

さて、3月議会では、いよいよ基本構想案及び基本計画案を説明する予定となっている。総合計画の策定にあたり、さらなる磨き上げをしていきたいと考えており、足りない視点など、ご意見をいただきたい。

【会 長】 総合計画の審議会で、これだけの回数をワークショップ形式で進めてきたまちは少ないと思うが、本来これを当たり前にするべきと感じている。本日の前半は基本構想案の議論を進めていく。前回の審議会イメージで言えば65～70点の内容を80点に引き上げていただいた。今回は、それでも足りない視点についてご意見をいただきたい。そして、後半は基本計画案の議論を進めたい。資料のボリュームが大きいので、本日は皆様の関心のある分野から、個人ワークを中心にご意見をいただきたい。

3. 協議事項

(1) 第3次丹波市総合計画の基本構想案について【資料1】

・・・事務局より資料1を説明。

【部長】 基本構想案について、出来高は7割から9割と考えている。前回の審議会を踏まえて、必要な要素は入れることができたと思っている。一方で、誤字脱字や項目の並びなどは十分でないところがあり、もう少し補足していく必要がある。また、施策体系など図表について、様々なイメージをご提案いただき、コンサルの方でも議論しながら、形にしてもらったところである。皆様のイメージに合っているかどうか、ご意見をいただきたい。また、基本計画案については、市側の作業が若干遅れており、出来高は3割から5割と非常に未成熟な状態である。具体的には、指標の設定や現状と課題、施策の展開の内容について整合性がとれているかなど、これから十分に調整をしていく必要がある。基本計画案は、基本的に市側で内容の調整をしていくこととなるが、市民の皆様から見て、5年後のまちの姿や施策の展開などに記載する内容の提案があれば、庁内で検討させていただきたいと思う。

【会長】 今年の秋には市長及び市議会選挙があり、9月議会での完成をめざしている。計画策定の進捗状況は、都度議会に報告されていくこととなっている。基本構想案も本日の議論で完成する訳ではなく、今後もバージョンアップしていくことを前提としていただきたい。私の意見も少しだけ紹介したい。まず表紙の「序論」については不要と思われるため削除してもらいたい。次にQRコードを適宜入れていただいているが、これはなるべく文字数を減らした計画とする点から非常に良いと感じる。加えて言えば、自治基本条例やアンケート結果だけでなく、人口ビジョンやまちづくりビジョンについてもQRコードで補足してはどうかと思う。委員の皆様からも他にQRコードで補足が必要な部分があれば、ご意見いただきたい。それから人口ビジョンについて、国立社会保障・人口問題研究所の推計値から、丹波市としてめざしていく人口は38,000人で議論されているところである。総計についてもこの目標人口を記載するかどうか検討をいただきたい。最後に、施策体系図については、まだじっくりきていない。この点については、縦向きより横向きの図にした方が良いのではなど、皆様に様々なご意見をいただきたい。

・・・2グループに分かれて、将来像に込める想いと施策体系図を中心に協議をした。

【Aグループ】 将来像の全体的なところで、文章が一文で様々なことが記載されていて、分かりにくくなっているため、短い文章で区切った方が良い。「丹(まごころ)の里」では、口語的な記載となっており、「ときめく」では、「持続可能な」「施策を推進する」というような難しい言葉が使われているなど、統一がとれていない。分かりやすくするために、口語的な言葉を使った方が良いのではないかというご意見があった。個々のフレーズでは、「ときめく」というフレーズを説明する文章のなかに「ときめく」という言葉が使われており、表現が重複している。「わくわく」という表現に置

き換えるなどした方が良い。

「丹(まごころ)の里」について、市民が主体となる視点を重要と考えているため、「誰かが気にかけてくれる」という表現をしない方が良い。「互いに支えあう」や「互いに顔が見えるコミュニティ」などの表現が良い。自然環境については、もう少し説明に厚みをもたせる必要があると思う。

「しあわせ輝く みんなの未来へ」について、住み続けたいまちとするには生活基盤がしっかりしていなければならないため、働く場について記載が必要ではないかというご意見があった。

P18の施策体系図について、カラーで見たいとのご意見があった。また、下部にまちの絵があるが、ビルや住宅が並ぶまちなみは、丹波市を示すまちではないため、里山の風景があるまちの絵に差し換えてほしいというご意見があった。最後に、中心に将来像があり、それを施策が取り囲む絵の方が良いのではというご意見があった。

【Bグループ】 将来像の「まなび」について、これまでの協議から、子どもも大人も生涯学習を通じて、まちづくりをしていくという想いがあったことに対し、内容が「学力だけでなく」など、一部が子どもの教育に関しての視点となっているので、修正が必要だと思う。

「ときめく」について、市民が充足度または満足度を高めるための施策を推進するという内容になっているが、行政視点だけになっている。市民の生活におけるの楽しみ、例えば、魅力ある文化・芸術が体験できたり、農業ができたりなど、市外の人からも選ばれるような魅力あるまちにするという想いを込めたい。また、市民と行政が同じ目標をもってアクションし、周りを巻き込みながら、普段の生活で市民がわくわくするようなまちづくりに取り組んでいくことを表現できたら良いと思う。

「丹(まごころ)の里」について、「誰かが気にかけてくれる、市民の人の良さ」という表現が気になる。また、自然やおもてなしの心、子どもから高齢者まで安心して暮らせる、などいろいろな要素が一文に混ざってしまっているため、非常に読みづらい文章になっている。文章を切って、一つひとつの項目の説明を順序立てていくことが必要である。

「しあわせ輝く みんなの未来へ」について、人口減少下でも持続可能なまちづくりを進めていくといった具体的な視点が無い。

P18の施策体系図について、第1印象としては、分かりづらく、整理ができていないというご意見があった。前回資料の案3のように視覚的に項目が見やすいものになったら良い。

P19の「事業者の役割」について、「人材の提供」に加え「育成」という視点を記載していくことや、「市民・地域の役割」については、「身近な地域課題の改善」ではなく、「解決」として意味を強めてはどうかといったご意見があった。また、各々の主体が同じ目標(将来像)に向かって取り組むといった表現が図で表せないかというご意見があった。

【会 長】 全体の視点として、計画を読む人が、自分のことだと思える視点で記載していくことや文章を読みやすい表現に修正するというご意見をいただいたと思う。また、難しい文言を市民が普段使っている言葉に置き換えるというご意見もあった。人口減少や人材育成、市民のわくわく感など補足する部分もあった。施策体系図については、やはり十分ではないという印象である。横向きの図にするとスペースもできるので、丹波市らしい写真を入れるなどさらなる工夫をお願いできればと思う。

(2) 第3次丹波市総合計画（前期基本計画）記載内容について【資料2】

・・・事務局より資料2を説明。個人ワークで、基本計画案に対して意見をシートにまとめた。

【会 長】 十分な時間が確保できなかったため、本日、シートにまとめきれなかったご意見については後日提出いただきたい。

4. その他

【事務局】 第11回丹波市総合計画審議会の開催日時について、4月上旬を予定している。

5. 閉会

【副会長】 本日も大変充実した時間となったと思う。先日、かいばら一番館で、中学校3年生の子どもたちがこれからの丹波市をどうしたいかを考えたプランについて見学する機会があった。移住を促進していくことや今のICT環境ではパソコンを活用した勉強がしづらいいったこと、工場誘致をしていくことなどについてご意見があり、新しい気づきがあった。中学生なりに地域のことを考えており、大人もしっかりと課題について考えていく必要があると感じた。本日は基本計画案についての宿題が出たので、次につなげていただければと思う。

以上